



江差町の海洋資産を活かした海洋体験の拠点化事業（海と日本2022）
2022年度 自主事業報告書

江差観光コンベンション協会

背景 & 課題

▼歴史的に海との関わりが深い江差町において、地域住民や旅行者が海を知り体験する機会が減少している

- ・かもめ島は北前船の交易港として繁栄したが、漁業不振と少子高齢化により、海の産業都市としての役割や海に関わる歴史文化を維持することが困難な状態。
- ・江差町では、夏季1ヶ月間限定の海水浴場以外で、地域住民や旅行者が海を体験する機会がほぼ無い。
- ・かもめ島の海は市街地に隣接しており、多様な海草類が混生するなど豊かな生態系を有しているが、その価値の認知度が低い。

2022年度実施内容のまとめ

実施①



[学校連携/子ども団体受入環境構築] 江差高校生と教育旅行プラン作り実施/キッズキャンプで団体受入試行

実施②



[かもめ島子ども研究員の育成] 北大と連携し、子ども達が春夏秋冬の海を研究・記録。今後有料ツアー化を想定。

実施③



[新・海洋体験メニューの開発] SUP体験は町民ガイドを育成。他に海上ウォーターバルーン、新ガイドコースを開発

量的成果（事業の拡がり）

- ① **宿泊・体験売上高 220万円** (内訳：グランピング泊165万円、手ぶらキャンプ泊43万円、海洋体験7万円、イベント2万円、教育旅行5万円)
- ② **宿泊・海洋体験延べ参加者数 634人** (内訳：グランピング泊73人、手ぶらキャンプ泊70人、有料体験216人、宿泊プランに含まれる体験延べ275人)
- ③ **メディア露出48回** (テレビ6回、ラジオ1回、新聞紙面14回、新聞web16回、雑誌4回、他7回)、公式HP, Twitter, FB, Instaを4月～運営

質的成果（次なる展開への芽）

- ① [団体受入] 江差高校との連携授業、キッズキャンプ、遠足受け入れ、オンライン授業対応により、自走化に向けた学校連携/団体受入環境構築の基礎を築いた。
- ② [子ども研究員] 北大と連携して、子ども達が春夏秋冬の海を研究・記録し、その結果を北大の研究等にも提供。有料体験イベントの実証実験としても実施。
- ③ [体験メニュー開発・町民ガイド育成] SUP体験では、町民に自発的な協力を募り、地域を巻き込んで本事業を“自分ごと化”し推進する関係性を構築。

2022年度課題点

- ① 悪天候とコロナ禍で宿泊のキャンセル増加(昨年25%→40%)
- ② 売上高は昨年対比3.5倍を達成するも、宿泊室数と需要期に限られるなど、自走化に向けて改善の余地あり
- ③ 海に直接入る体験の要望が多いが、体験の種類と季節が限定的

2023年度改善点

- ① 雨天時の宿泊環境改善によりキャンセル低減
- ② グランピングの設備・運営システム改善、子ども研究員や学校連携等の有料化が見込めるプラン開発による自立化推進
- ③ 海に入れる体験メニューの増加と、季節性への対策実施



グランピング宿泊プラン (4月29日～10月23日)
手ぶらキャンプ宿泊プラン (4月29日～10月23日)
54組148人 売上210万円 ※見込み



学校連携 (年4回 講義, ワークショップ等実施)
江差高校生が、かもめ島の海を活用した教育旅行プランを考案 (2023年1月最終回の予定)



みらいジュニア研究員 (春, 夏, 秋, 冬 4回開催)
北大水産科学研究院(東条助教)と連携
海の生物や環境を調査・体験



わくわくキッズキャンプ (7月23～24日)
子ども団体の宿泊受入テストとして、1泊2日のキャンプ合宿を実施。地元小学生12人参加



海洋体験メニュー構築 (写真: SUP体験)
SUPは地元住民をガイド役として育成
他、海上ウォーターバルーン、新ガイドウォークを新設



Youtuberを招いての体験イベント実施
BBQタレント「たけだバーベキュー」招聘
YouTubeへの投稿により全国へマリンビギングの認知拡大

各メディア露出回数

- ◇TV放送回数 計**5**回
- ◇ラジオ放送回数 計**1**回
- ◇新聞掲載回数 計2社**14**回
- ◇雑誌掲載回数 計**5**回
- ◇WEB掲載 計**16**回
- ◇札幌市街頭大型ビジョン放映回数 計**2**回 (P.7)

テレビ・ラジオ露出 ※海外テレビ含む

エリア	日付	媒体名
北海道	5月18日	NHK「ほっとニュース函館」
北海道	7月2日	NHK「北海道ニュース」
北海道	7月30日	NHK「ニュース北海道645」
北海道	4月20日	FMいるか「Daytime Radio」※ラジオ
台湾	11月6,13日	総務省補助事業(札幌テレビ放送) 民視「GoGo Taiwan来去 北海道」 ※民視…台湾トップの地上波テレビ局

海外含め

計6回放送

■台湾地上波 11月6日 (Youtubeでも配信中)

総務省
令和3年度補正予算 及び 令和4年度予算
「放送コンテンツによる地域情報発信力強化事業」

台湾から北海道への誘客と
ライブコマース事業

札幌テレビ放送株式会社

2022年



■NHK「ほっとニュース函館」 5月18日
学校連携(江差高校生が教育旅行考案)



■NHK「北海道ニュース」 7月2日 かもめ島まつり(マリンピング公開)



■NHK「ニュース北海道645」 7月30日 ジュニア研究員(春版)



エリア	日付	媒体名
北海道	4月2日	北海道新聞
北海道	4月5日	函館新聞
北海道	4月11日	北海道新聞
北海道	4月15日	北海道新聞
北海道	5月6日	北海道新聞
北海道	5月13日	北海道新聞
北海道	5月20日	北海道新聞
北海道	5月21日	北海道新聞
北海道	5月27日	北海道新聞 ※2記事
北海道	7月5日	函館新聞
北海道	8月7日	北海道新聞
北海道	9月13日	北海道新聞
北海道	10月1日	北海道新聞

計2社14回掲載

■ 北海道新聞 4月2日 (サザエさんアニメオープニング登場)



江差かもめ島「サザエさん」デビュー
あすから6月までオープニング映像

【江差】日曜の人気アニメ番組「サザエさん」(フジテレビ系、週内はUHD)の4~6月のオープニング映像に、町内の観光名所・かもめ島で撮影する1日ツアー「かもめ島マリンピング」が登場する。初回は今年3日で、関係者は「全国にアピールできるチャンス」と喜んでいる。

カニを持つサザエさんが主題歌に乗って、かもめ島の豪華なキャンプ「グランピング」や名所の「観鳥灯台」などを紹介する。家族の様子を紹介する。

同マリンピングに助成する日本財団「海と日本プロジェクト」とフジテレビによる、海にまつわる全国の取り組みをPRする連続事業の一環。同プロジェクトが「グランピングデパート」と海の組み合わせが話題になる。と江差を特集した。映像は今年6月まで公開される。北海道江差観光みらい機構の担当者は「サザエさん」は国民的アニメで、自分もオープニングの登場場面が楽しみ、多くの人に見てほしい」と話している。(宮崎博吾)

■ 函館新聞 4月5日 (サザエさんアニメオープニング登場)



■ 北海道新聞 9月13日 (みらいジュニア研究員 秋版) ■ 北海道新聞 4月15日 (マリンピング 担当者紹介)

■ 北海道新聞 4月11日 (マリンピング今期営業準備・今後の狙い)



■ 函館新聞 7月5日 (かもめ島まつりにサザエさん出演)



エリア	日付	媒体名
全国	8月31日	波となぎさ (港湾業界誌) 港湾海岸防災協議会発行
北海道	7月15日	青いポスト (フリーペーパー)
北海道	7月1日	道南檜山観光パスポート (観光キャンペーンガイドブック) 北海道檜山振興局主催
全国	6月3日	北海道生活 夏号 (観光情報誌)
北海道	3月1日	みなみ北海道観光ガイド (広域観光パンフ) 函館国際観光コンベンション協会発行

■ 北海道生活 (北海道の夏の見どころ紹介)

Hokkaido Midokoro Note
ほっかいどう
見どころレポート
HOKKAIDO LOVE!
北海道に数多くある見どころを本誌スタッフが実際に体験して、その魅力を紹介します。

Vol.35 アウトドアで北海道の夏を満喫!

Information
見どころHOKKAIDO LOVE

■ 波となぎさ (江差町の港湾活用事例としてマリンピング取組紹介)

行政連携

全国海岸リレー紹介

北海道 かもめ島マリンピング～海と日本PROJECT～

かもめ島マリンピング運営事務局 (一般社団法人北海道江差観光みらい機構)

キャンプといえば山が一般的かもしれませんが、道産子にとっては「キャンプといえは海っしょ!」です。北海道ではテントでビーチが埋め尽くされる光景を良く目にします。このコロナ禍の安心なアウトドアレジャーとしてキャンプが改めて注目される中、北海道の江差町では、かつて北前船が停泊していた歴史的舞台でもあるかもめ島(写真1)において、「かもめ島マリンピング」を開始しました。ちなみに、マリンピングとは、「グランピング」と海の「マリン」を掛け合わせた造語で、海辺での優雅なキャンプと様々な海洋体験をコンセプトに江差町では様々な取組みを行っています。直径6mのドーム型テント内(写真2)には、セミダブルベッド2基と家具、プロジェクトターや冷蔵庫を設置しており、Wi-Fiの利

用も可能です。もちろん、エアコンも完備しており、暑い夏や涼しい春・秋でも快適です。夕食はBBQ、もしくは「おかもち」BOXデザイナーの選択制で、どちらも江差町で調達した海と山の幸を堪能して頂くことで、町内への経済波及効果も期待しています。また、海洋体験メニューを用意しています。カニ釣りやガイドウォーク等に加えて、今シーズン中にSUP体験を開始するため地元でSUPガイドの育成にも取り組んでいます。マリンピングの受付は、「みなとオアシス江差」の代表施設である開陽丸管理棟内の観光案内所で行っており、今後、みなとオアシスとの連携も模索していきたいと考えています。マリンピングは、次世代へ海を引き継ぐために海を介して人と人とがつながる「日本

財団 海と日本PROJECT」の一環として、2021年度より取り組んでいます。海と日本プロジェクトは、海と関わり深いアニメである「サザエさん」との共同事業(写真3)を行っており、2022年4月3日～6月26日の毎週日曜のオープニングアニメーションに、かもめ島マリンピングが登場しました。実際に「サザエさんのオープニングを見て来ました!」という東京からのお客様もいました。コロナ禍でキャンプが改めて注目を浴びる中、マリンピングは年間を通じたビーチの利活用に有効と考えています。今シーズンの取組を通じて、その効果だけではなく、様々な課題が把握できそうですので、また「波となぎさ」の紙面を借りて報告し、全国の海岸の活性化に貢献したいと考えています。

写真1 かもめ島
写真2 ドーム型テント内
写真3 「サザエさん」との共同事業

■ 青いポスト (マリンピング紹介記事)

かもめ島でマリンピング

かもめ島マリンピング運営事務局

次世代へ海を引き継ぐために、海を通して人と人がつながる活動を推進する「日本財団 海と日本PROJECT」の一環として世に知られている「かもめ島マリンピング」は、日本海を一望できるかもめ島の頂上に設置された直径6mのドーム型テントに宿泊しながら、マリンカイトやカニ釣りなどの海洋体験、たき火、食事などを楽しめる宿泊プラン。夕食はレストランが提供する豪華なBOXデイナーか、スタッフに焚き火サポートをしてもらいながら食べるだけ、という贅沢なBBQかを選べます。料金は2人の宿泊、食事、体験込みで52,000円。+2人まで追加可能で、追加料金は大人1人26,000円、小学生1人15,000円、未就学児1人5,000円。1日1組限定、10日前まで要予約。ほかに「手ぶらキャンプ宿泊プラン」も有。開催は10月23日まで。電話受付9時～17時。土・日曜、祝日休。
● 檜山郡江差町宇字神町1-10
☎ 0139-56-1144

➤ **【宿泊利用者】** 全体的にポジティブな回答。かもめ島の環境と海洋体験に高評価。

宿泊について（プラス内容）

子どもの満足度が高く嬉しかった

(江差町 3名 グランピング)

ガイドがあったおかげでかもめ島のことを知ることができた。

(札幌市 3名 グランピング)

宿泊について（マイナス内容・要望）

バタバタして時間が足りない。連泊の割引プランを用意してはどうか

(函館市 2名 手ぶらキャンプ)

楽しいイベントを増やして選択肢があると良い

(江差町 3名 グランピング)

★ 宿泊者の**97%**が「満足した」と回答



要望は、細かいリクエストが大半
こまめに改善して満足度を高めていく

➤ **【ジュニア研究員】** 海の生物知識だけでなく、環境問題にも理解が広がった。

子ども（小学校4～6年生）

海には人間に関係する問題があると分かった

(江差町 10才 男性)

貝の種類があるなんて知らなかった

(江差町 8才 男性)

保護者（30～40才代）

こんなプロジェクトを中高生にも体験して欲しい

素敵なのに無料なのが申し訳ない

(江差町 40代 女性)

プラごみを出さないよう、買わないよう気を付けたい

(江差町 40代 女性)

【子ども】	楽しかった
ポジティブ	96.7%
ネガティブ	3.3% (1件)

【保護者】	海への関心が高まった	満足した また来たい
ポジティブ	94.1%	100.0%
ネガティブ	5.9% (1件)	0.0%



深い学びの提供が可能で、
参加者の満足度も高い。
今後は有料ツアー化も検討

7月13日(水) 乙部中学校の遠足受け入れ ※教育旅行の初受け入れ校 (隣町の公立校)

■ 生徒からのお礼状紹介



北海道江差観光みらい機構の皆様

拝啓 夏の盛りとなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、先日はお忙しい中、私たちのマリリンピング学習を快くお引き受けいただき、ありがとうございました。

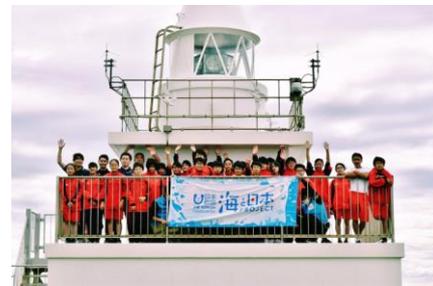
マリリンピングでは、色々なことを教えていただきました。まず、灯台を見せていただきました。かもめ島の灯台の光り方、昔は火で光をつくらっていたのが分かりました。移動中も間陽丸についてや、鳥居についての豆知識を話していただいたのが印象に残っています。かに釣りでは、ワクワクが生まれてとても楽しかったです。今まで知らなかったかもめ島の歴史や伝説、植物について知ることができました。ありがとうございました。

暑さのみならずコロナ禍中で落ち着かない日々が続いておりますが、お身体に気をつけて、お仕事を頑張ってください。

敬具

令和4年 7月27日

乙部町立乙部中学校 1年



【実現の経緯】

乙部中教諭が学校連携(江差高)の**NHKニュース**を視聴

→ 教諭が江差町観光協会へ、恒例の遠足コースをマリリンピングへ切り替えたいと相談したことから実現

→ [背景] 学校は、体を動かさずアクティブな遠足を求めている

【コメント抜粋】

- **かもめ島の灯台の光り方、昔は火で光をつくらっていたのが分かりました。**
- **かに釣りでは、ワクワクが生まれてとても楽しかったです。**
- **今まで知らなかったかもめ島の歴史や伝説、植物について知ることができました。**

タコ伝説

行政連携



海プロxサザエさんの初登場イベントが「かもめ島まつり」。江差町の夏祭りイベント。サザエさんがステージPR、灯台記念撮影会を実施。日本財団 坂根様の発案で実現。

行政連携



江差町のふるさと納税「電子感謝券」にマリピンングがラインナップ。現地でスマホ決済できる手軽なシステム。江差町役場からの提案により実現。

学校連携



先方からの依頼で中学校の遠足受け入れ(2校実施済み)。都内中学校へオンライン授業も実施。江差高校「地域学」参加は次年度も継続予定。
→**学校連携の二次波及が拡大中**

行政連携

部(小樽市の鷗島灯台として北海道指定を指定した。(長内宏人)

航路標識協力団体に江差観光みらい機構



池上部長(前列左)から指定証を受けた船理事(同左から2人目)と宮崎事務局長(同3人目)

町活性化へ効果期待 鷗島灯台をPR材

鷗島灯台の航路標識協力団体として、マリピンング運営事務局が認定。ガイドウォークやイベント時に灯台内部見学を実施中。→ **灯台敷地の利活用も視野に**

行政連携



札幌すすきの交差点の街頭大型ビジョンでマリピンングPR動画を6～9月に無料放映。江差町役場からの紹介により実現。

行政連携



国土交通省北海道開発局幹部の視察2回から、
①国土交通省本省へマリピンング事例プレゼン
②港湾業界誌「波となぎさ」に取組紹介で寄稿
③外郭団体「日本ビーチ文化振興協会」の体験宿泊&意見交換会へ派生[予定](※)
かもめ島のビーチの利活用方法を検討する
※③は台風11号接近で2023年度へ延期

■P.8 右下の事例（国土交通省北海道開発局の視察）からの発展事例 ※現在進行中

経緯

- (1) 2022年6月：国土交通省北海道開発局 港湾計画課長が江差港とマリニングを現地視察&意見交換会
- (2) 7月：同課長の仲介で、国土交通省(本省)港湾局へマリニングの事例説明（Web会議）
- (3) 8月：同課長の上長（港湾空港部長）が江差港とマリニングを現地視察
- (4) 8月：港湾海岸防災協議会の広報誌「波となぎさ」にマリニングの事例紹介記事を掲載
- (5) 9月：[悪天候→次年度延期] 日本ビーチ文化振興協会等の役員8名がマリニング宿泊体験&意見交換会

2件派生

①『港湾海岸防災協議会』研究会にて、かもめ島マリニング事例を講演（予定）

- ・組織概要： 港湾海岸防災事業の促進活動, 調査研究等（例：P.5『波となぎさ』掲載済み）
日本港湾協会の関連組織
- ・構成員： 地方自治体等 全490団体（会長：森山裕 衆議院議員）
- ・研究会： 2023年2月上旬 日本港湾協会会議室にて「海岸の利用と管理」をテーマに開催予定
- ・講演内容： 賑わい創出等を通じた海岸運営の取組として、かもめ島マリニングの事例を発表



②『(公社)日本港湾協会 企画賞』北海道開発局がかもめ島マリニングを推薦（予定）

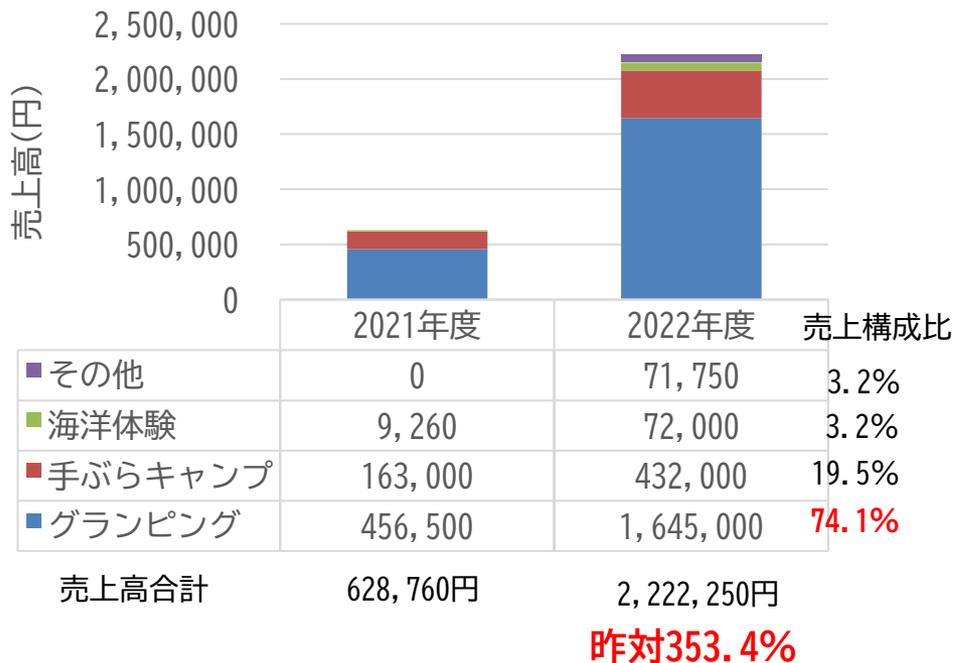
- ・組織概要： 各地方の港湾協会や港湾協議会を束ねる全国規模の業界団体
- ・構成員： 港湾管理者の全国市町村, 港湾関連の企業や団体等 全1,099名（会長：日本製鉄 進藤会長）
- ・表彰目的： 港湾の発展振興等に貢献する事例を表彰するもの
- ・表彰区分： 5分野（企画賞, 論文賞, 技術賞, 鮫島賞, 港湾功労者）
- ・推薦理由： 港湾に関する企画表現が特に優れ、港湾等に関する理解の増進並びに整備の促進が顕著であった事例に贈られる「企画賞」について、北海道開発局が「かもめ島マリニング」を推薦したいとのこと。
- ・選考予定： 2023年1月初旬 国土交通省の各地方整備局等が推薦書提出 → 同協会内で選考&決定
- ・表彰日程： 2023年5月24日 福島県いわき市で開催予定の同協会定時総会にて表彰



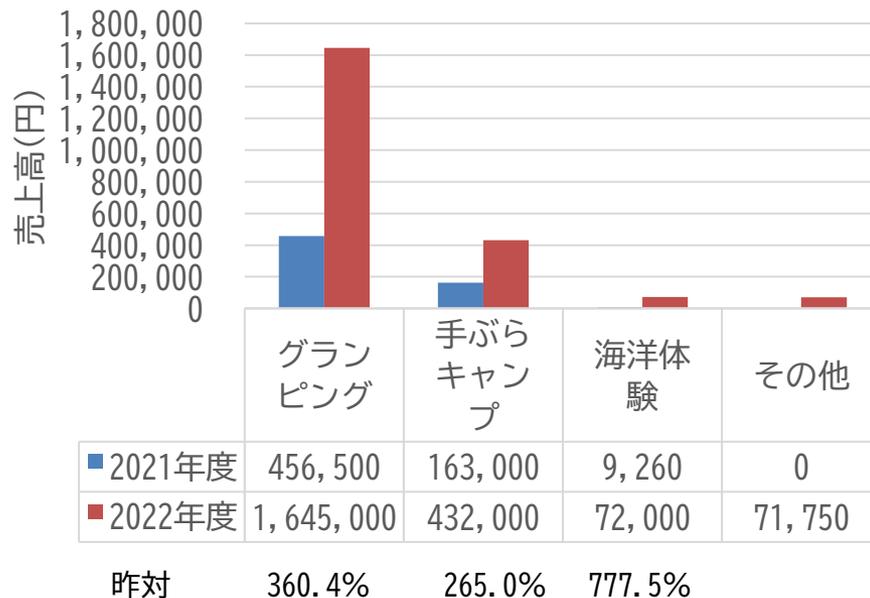
■売上高 : 昨対比 **3.5倍**

■売上構成比 : グランピングが**74%** (高単価・雨天でも催行可能)

●売上高推移_全体



●売上高推移_カテゴリ別



■外的マイナス要因

- ・ 2021年度
 - ・ 営業期間が短期間 8/21~10/24
 - ・ コロナ緊急事態宣言 8/27~9/30
- ・ 2022年度
 - ・ 観測史上最高の降雨量(6~8月江差町) 平年比1.5倍
 - ・ オミクロン株の感染拡大によるコロナ禍の影響長期化



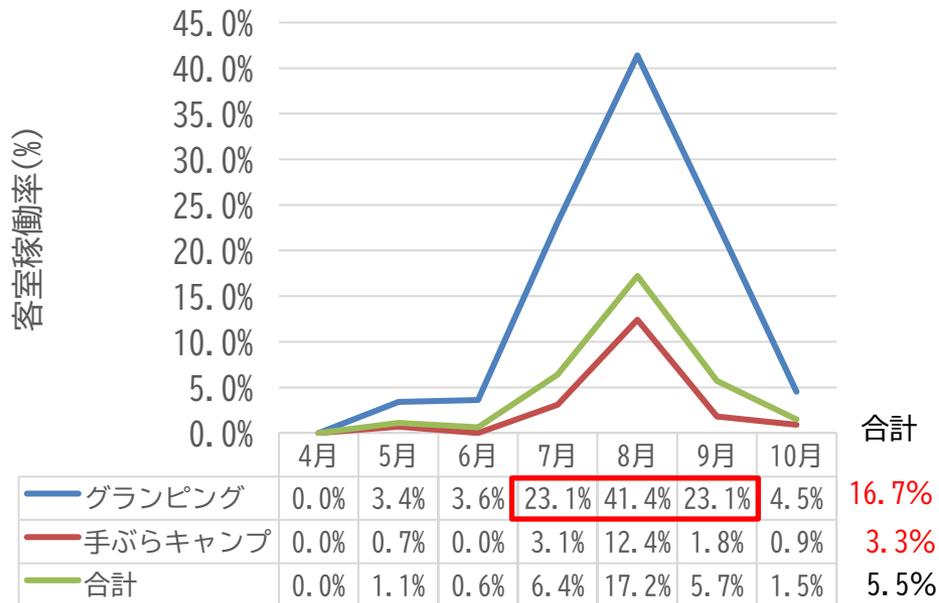
■外的マイナス要因による影響

- ・ 2021年度
 - ・ 夏休み明け(8月下旬)以降の予約が低調
- ・ 2022年度
 - ・ 宿泊のキャンセル率**40%** (内、手ぶらキャンプ**53%**)
 - ・ 旅行控え発生 (GoToトラベルの延期継続)

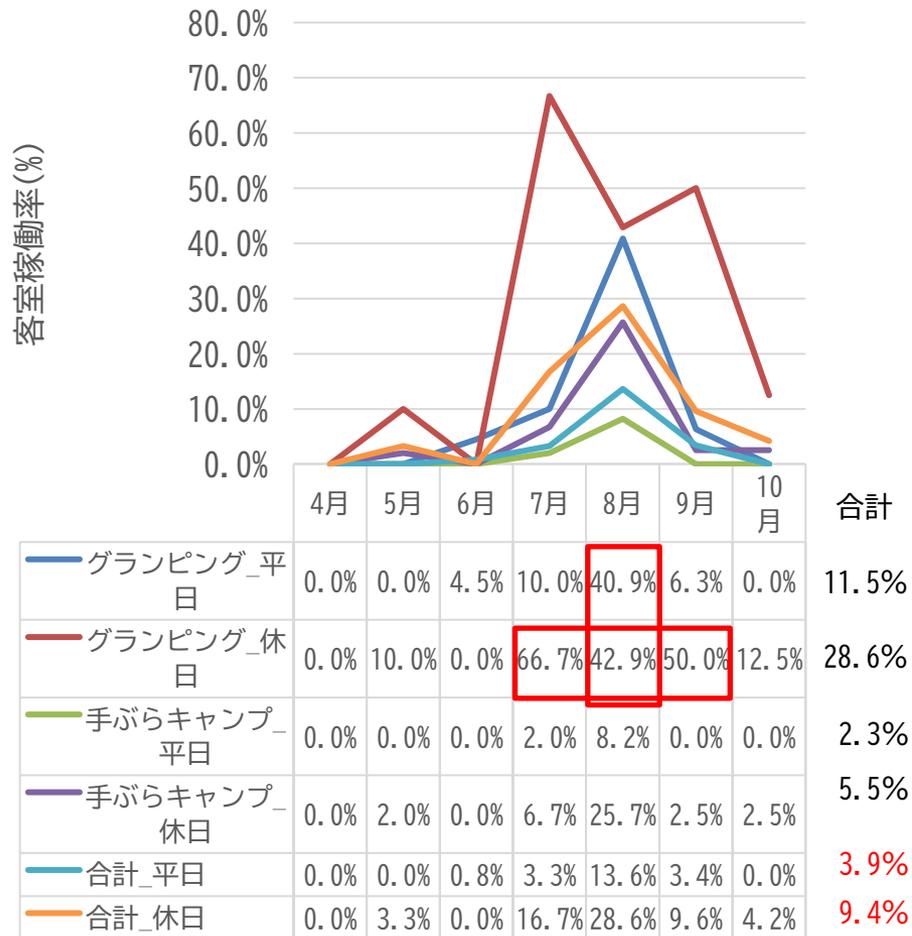
■ **グランピング稼働率**：手ぶらキャンプの5倍 (グランピング16.7%、手ぶらキャンプ3.3%)

■ **休日稼働率**：平日の2倍 (休日9.4%、平日3.9%)

●客室稼働率_カテゴリ別



●客室稼働率_カテゴリ別・平日休日別



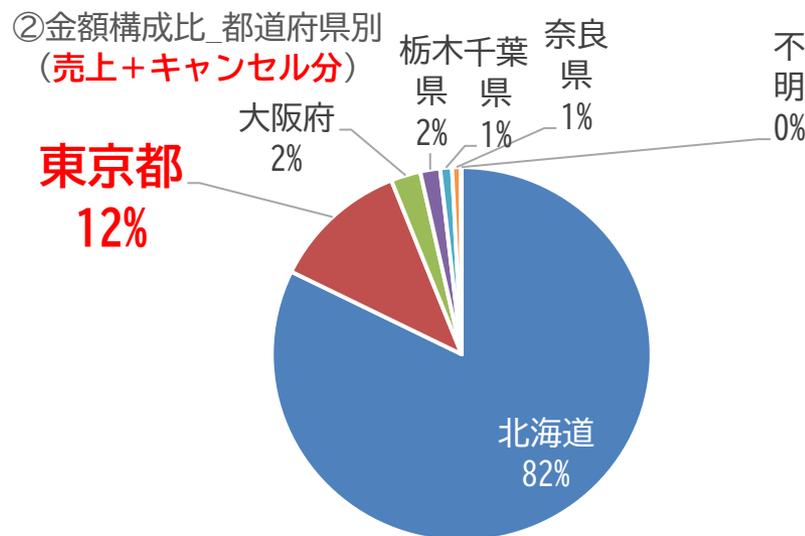
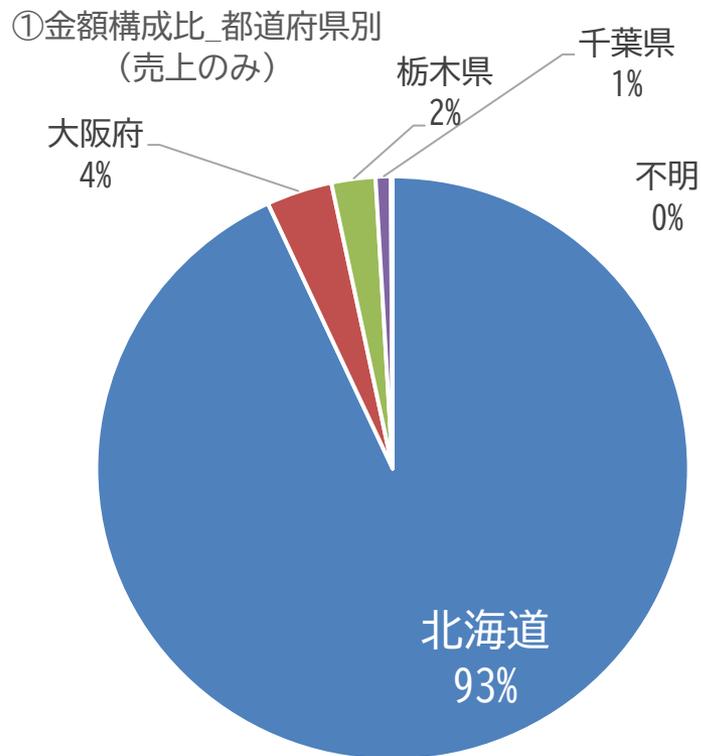
■ **その他分析**

- ・7~9月に予約が集中
- ・5, 6, 10月は予約低調 特に手ぶらキャンプ不振 (寒いイメージ)
- ・ **グランピングが1室限定のため、売上拡大の余地が大きい**

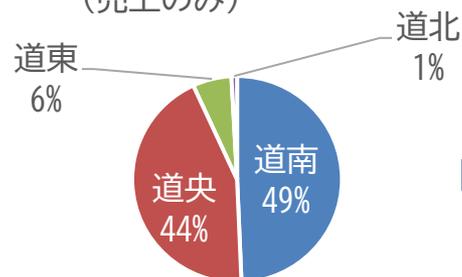
■ **教訓**

- ・7~9月はイベント開催を控え、**宿泊可能日を確保すべき**
- ・5, 6, 10月に予約拡大の余地あり (道民にとって春, 秋は寒い印象)

- ①北海道の構成比 : 売上高の93% (本州は7%)
- ②キャンセル無しと仮定: 本州が17% (東京都は12%) ← サザエさん効果の予約もあった
- 次年度、コロナ禍の収束による旅行需要の復活に伴い、本州からの予約増加が見込まれる



●北海道内_地域別_売上高分布 (売上のみ)



■道南 主要内訳
・函館市 60.5%
・江差町 20.2%

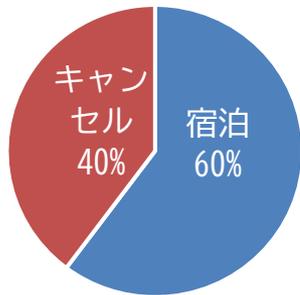
■道央 主要内訳
・札幌市 62.9%



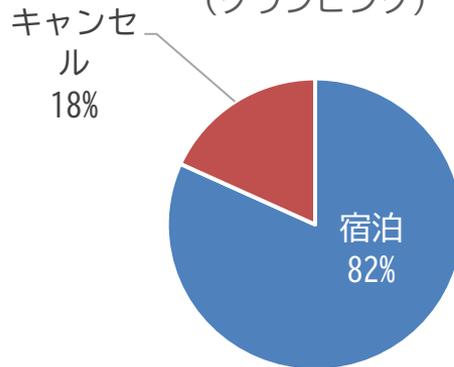
<参考資料> [宿泊] キャンセル分析 (組数ベース)

- **キャンセル率** : 全体40% (昨年 全体25%)
- **キャンセル理由** : コロナ+悪天候で61% →次年度は改善が見込まれる
- **グランピングのキャンセル率が低い** (手ぶらキャンプは悪天候でキャンセル増 → 要対策)
- **仮にキャンセルが無ければ、売上高見込みは1.4倍の約320万円**

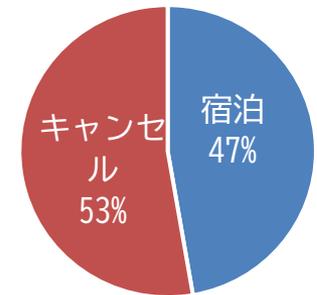
●宿泊/キャンセル比
(宿泊全体)



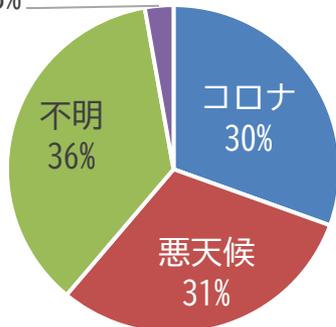
●宿泊/キャンセル比
(グランピング)



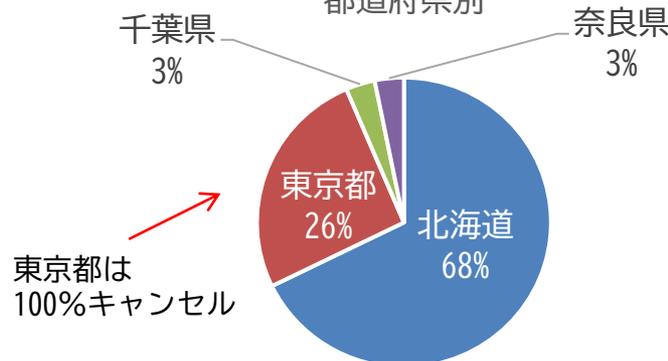
●宿泊/キャンセル比
(手ぶらキャンプ)



●キャンセル理由
その他 3%



●キャンセル発生地
都道府県別



■金額ベースのキャンセル率

グランピング	21.0%
手ぶらキャンプ	55.8%
全体	30.7%